



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月9日

上場会社名 アルテック株式会社
コード番号 9972 URL <https://www.altech.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）池谷 壽繁
問合せ先責任者 （役職名）経理部長 （氏名）野田 剛司 TEL 03-5542-6762
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績（2025年12月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年11月期第3四半期	11,893	△3.4	586	—	479	—	393	243.1
2025年11月期第3四半期	12,307	△11.4	△104	—	△142	—	114	△73.4

（注）包括利益 2026年11月期第3四半期 1,071百万円（－％） 2025年11月期第3四半期 △220百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	28.58	—
2025年11月期第3四半期	8.33	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年11月期第3四半期	15,940	9,443	58.9
2025年11月期	14,873	8,470	56.4

（参考）自己資本 2026年11月期第3四半期 9,394百万円 2025年11月期 8,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	7.00	7.00
2026年11月期	—	0.00	—	—	—
2026年11月期（予想）	—	—	—	7.00	7.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年11月期の連結業績予想（2025年12月1日～2026年11月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	18,000	2.6	700	—	500	—	—	—	—

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2026年8月末に福井県坂井市において発生した豪雨による浸水被害に関する影響額を精査中であることなどから、「親会社株主に帰属する当期純利益」および「1株当たり当期純利益」に関しましては、前回予想を一旦取下げ「未定」とさせていただきます。今後、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) 、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年11月期 3 Q	15,153,000株	2025年11月期	15,153,000株
② 期末自己株式数	2026年11月期 3 Q	1,383,671株	2025年11月期	1,383,611株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年11月期 3 Q	13,769,375株	2025年11月期 3 Q	13,769,469株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2025年12月1日～2026年8月31日）におけるわが国経済は、緊迫する国際情勢や円安に伴う物価高騰の影響を受けつつも、雇用・所得環境の改善等を背景に、緩やかな回復基調となりました。一方、海外においては、中国が不動産市場の低迷等により緩やかな減速基調となったものの、米国や欧州各国に関しては概ね堅調に推移いたしました。しかしながら、中東情勢をはじめとする地政学リスクの常態化に伴う資源の供給制約やエネルギー価格の高止まり等の懸念材料も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような市場環境の下、当社グループは、創立50周年を迎える2026年11月期を新たな出発点と位置づけ、10年後のあるべき姿を定め、「中長期ビジョンならびに中期経営計画2026－2028」を策定いたしました。「中期経営計画2026－2028」では、「事業構造改革の貫徹～中長期的な価値創造の基盤としての事業構造改革、磨き上げおよび組織力強化の完遂～」を基本方針とし、価値創造基盤の再構築に向けた事業構造改革を推進することで収益力の徹底改善に取り組んでまいります。

商社事業においては、新規商権の開拓を推進するとともに、既存商権においてもミネラルウォーター製造設備、食品加工機械等の大型機械、自動倉庫等の人手不足の改善に向けた商権の収益拡大と、RFIDタグを利用した車両用タイヤの物流管理やメンテナンスの効率化を目的とする新しいビジネスモデルの構築に努めてまいります。

プリフォーム事業においては、中国での再生フレーク事業の収益が極めて厳しい状況であったため、前連結会計年度に再生フレーク事業から撤退いたしました。この撤退による効果に加え、既存顧客への販売拡大および新規顧客の獲得、取引内容の変更による食用油用プラスチックキャップの収益性の改善等により、中国での早期の業績回復に注力してまいります。また、国内では、再生フレークおよび再生ペレットの調達コストの低減と品質向上を軸に市場のニーズに対応することで既存顧客への販売拡大および新規顧客の獲得を目指してまいります。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、プリフォーム事業が増収となったものの商社事業が減収となったことで、売上高は11,893百万円（前年同四半期比3.4%減）となりました。売上高は減少したものの、プリフォーム事業の黒字化の実現により、営業利益は586百万円（前年同四半期は営業損失104百万円）、経常利益は479百万円（前年同四半期は経常損失142百万円）となりました。2026年8月末に福井県坂井市において発生した豪雨による浸水被害に関する災害損失引当金繰入額96百万円を特別損失として計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は393百万円（前年同四半期比243.1%増）となりました。

（商社事業）

商社事業につきましては、飲料製品用包装システム、ICカード製造装置等の検収の完了、国立研究開発法人産業技術総合研究所に対するセキュリティ評価装置の納入等があったものの、大型機械の販売件数が前年同期に比べて減少し、減収減益となりました。

この結果、売上高は5,241百万円（前年同四半期比14.5%減）、セグメント利益は195百万円（前年同四半期比52.5%減）となりました。

（プリフォーム事業）

プリフォーム事業につきましては、前連結会計年度の再生フレーク事業からの撤退による売上高の剥落の影響はあったものの、国内向け飲料用プリフォームの販売数量等が増加し、増収となりました。これに加え、再生フレーク事業からの撤退をはじめとした事業構造改革の実施に伴う固定費の適正化による資産効率の向上、食用油用プラスチックキャップの収益性の改善等により、黒字化を実現いたしました。

この結果、売上高は6,737百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は512百万円（前年同四半期はセグメント損失353百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,528百万円となり、前連結会計年度末に比べ876百万円増加いたしました。これは主に売掛金、電子記録債権が減少したものの、現金及び預金、商品及び製品、前渡金が増加したことによるものであります。固定資産は4,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は15,940百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,067百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は5,709百万円となり、前連結会計年度末に比べ300百万円増加いたしました。これは主に未払金、未払費用が減少したものの、支払手形及び買掛金、短期借入金、前受金が増加したほか、災害損失引当金を計上したことによるものであります。固定負債は786百万円となり、前連結会計年度末に比べ207百万円減少いたしました。これは主に長期借入金、リース債務が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,496百万円となり、前連結会計年度末に比べ93百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は9,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ973百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことに加え、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は58.9%（前連結会計年度末は56.4%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月末に福井県坂井市において発生した豪雨による浸水被害に関する影響額を精査中であることなどから、2026年1月14日付の「2025年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしました通期の業績予想の一部を一旦取下げ「未定」といたしました。今後、合理的な業績予想の算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。詳細につきましては、本日（2026年10月9日）公表いたしました「（開示事項の経過）福井県内で発生した豪雨の影響および特別損失の計上、ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお配当予想に関しましては、変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,611,513	4,781,887
受取手形	110,271	—
売掛金	2,567,704	1,757,352
電子記録債権	550,718	193,017
商品及び製品	1,823,371	2,286,889
原材料及び貯蔵品	599,361	631,308
前渡金	1,074,537	1,486,975
未収入金	288,889	290,592
その他	159,276	234,262
貸倒引当金	△133,584	△133,584
流動資産合計	10,652,058	11,528,702
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	926,473	995,123
機械装置及び運搬具（純額）	867,563	936,714
土地	35,174	35,174
リース資産（純額）	876,239	868,641
建設仮勘定	101,580	49,812
その他（純額）	620,742	700,906
有形固定資産合計	3,427,774	3,586,372
無形固定資産	232,242	250,224
投資その他の資産		
投資有価証券	315,073	380,803
敷金及び保証金	106,644	94,814
繰延税金資産	85,077	86,488
その他	54,217	12,818
投資その他の資産合計	561,013	574,925
固定資産合計	4,221,030	4,411,523
資産合計	14,873,088	15,940,225

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	693,909	817,379
短期借入金	2,555,080	2,709,616
リース債務	250,573	242,235
未払金	340,937	230,114
未払費用	563,788	419,878
未払法人税等	52,845	32,151
前受金	750,432	1,073,582
災害損失引当金	—	96,000
その他	201,143	88,425
流動負債合計	5,408,710	5,709,382
固定負債		
長期借入金	479,000	395,000
リース債務	492,519	370,014
その他	22,724	21,951
固定負債合計	994,243	786,966
負債合計	6,402,954	6,496,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,527,829	5,527,829
資本剰余金	790,215	790,215
利益剰余金	△113,460	183,704
自己株式	△445,342	△445,359
株主資本合計	5,759,242	6,056,390
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,981	150,693
繰延ヘッジ損益	10,456	849
為替換算調整勘定	2,515,432	3,186,722
その他の包括利益累計額合計	2,632,869	3,338,266
非支配株主持分	78,022	49,220
純資産合計	8,470,134	9,443,877
負債純資産合計	14,873,088	15,940,225

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第 3 四半期連結累計期間 （自 2024年12月 1 日 至 2025年 8 月31日）	当第 3 四半期連結累計期間 （自 2025年12月 1 日 至 2026年 8 月31日）
売上高	12,307,318	11,893,178
売上原価	10,035,851	8,920,446
売上総利益	2,271,466	2,972,732
販売費及び一般管理費	2,376,253	2,386,704
営業利益又は営業損失（△）	△104,787	586,027
営業外収益		
受取利息	9,121	6,063
受取配当金	5,175	7,566
為替差益	—	24,483
作業くず売却益	4,661	4,523
受取還付金	56,037	—
受取補償金	14,027	—
その他	38,418	25,173
営業外収益合計	127,442	67,810
営業外費用		
支払利息	118,580	114,211
支払手数料	19,755	42,629
持分法による投資損失	9,201	—
為替差損	4,664	—
その他	12,696	17,892
営業外費用合計	164,898	174,733
経常利益又は経常損失（△）	△142,243	479,104
特別利益		
固定資産売却益	16,517	3,809
特別利益合計	16,517	3,809
特別損失		
固定資産売却損	245	—
固定資産除却損	2,011	1,920
災害損失引当金繰入額	—	96,000
関係会社出資金売却損	1,100	—
特別損失合計	3,356	97,920
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△129,083	384,992
法人税、住民税及び事業税	69,527	36,791
法人税等調整額	△169,506	△14,004
法人税等合計	△99,978	22,786
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△29,105	362,205
非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△143,797	△31,344
親会社株主に帰属する四半期純利益	114,692	393,550

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年12月1日 至 2026年8月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△29,105	362,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,418	43,712
繰延ヘッジ損益	19,410	△9,606
為替換算調整勘定	△237,699	675,490
持分法適用会社に対する持分相当額	△24,369	—
その他の包括利益合計	△191,239	709,596
四半期包括利益	△220,345	1,071,802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△81,017	1,098,947
非支配株主に係る四半期包括利益	△139,327	△27,145

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）およびのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	632,200千円	427,467千円
のれんの償却額	3,469	—

(セグメント情報等の注記)

前第3四半期連結累計期間（自 2024年12月1日 至 2025年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	商社事業	プリフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,098,891	6,208,426	12,307,318	—	12,307,318
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29,595	25,601	55,196	△55,196	—
計	6,128,486	6,234,027	12,362,514	△55,196	12,307,318
セグメント利益又は損失（△）	412,324	△353,622	58,702	△163,489	△104,787

(注) 1. セグメント利益又は損失（△）の調整額△163,489千円には、セグメント間取引消去20,155千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△184,910千円および固定資産の調整額1,266千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2025年12月1日 至 2026年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	商社事業	プリフォーム 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,182,963	6,710,215	11,893,178	—	11,893,178
セグメント間の内部売上高 又は振替高	58,149	26,918	85,067	△85,067	—
計	5,241,112	6,737,133	11,978,246	△85,067	11,893,178
セグメント利益	195,683	512,001	707,684	△121,657	586,027

（注）1. セグメント利益の調整額△121,657千円には、セグメント間取引消去36,446千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△162,135千円および固定資産の調整額4,032千円が含まれております。全社費用は、主にセグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。